

## Hospital 病院クローズアップ

## 国立病院機構

## 名古屋医療センター



## 院長PROFILE

吉江 知樹 (なほえ・ともき)

1976年名古屋大学医学部卒業。

2001年名古屋大学大学院医学系研究科教授、2010年名古屋大学医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センター長を経て、2013年名古屋医療センター院長に就任。

2011年日本血液学会会長、2015年日本癌学会会長を務め、第12回佐川がん特別賞受賞。

## 大学病院と市中病院の良い部分を併せ持つ、魅力ある病院づくりを

当院は、がん医療、救急医療、高度医療を中心とした施設です。また、「地域がん連携拠点病院」として、最新の治療を行い、患者さんのクオリティ・オブ・ライフの向上に努めています。

また以前から、国立病院機構の中でも血液分野ではセンター病院としてずっとやってきましたし、HIV、免疫不全症などに関しては、この地域の拠点としての役割を担っています。

それに加え、当院では三次救急にも対応しており、24時間無休の「救命救急センター」を備えています。救急車の受け入れは年間7,000台以上。新しい患者さんが次々と入院しますから、多彩な症例が学べるという面では1つの利点だと思っています。大学病院では先端医療や研究ができますが、当院でも先端医療に取り組んでいますし、臨床研究も非常に盛んですので、そこが強みであると考えています。

「臨床研究センター」では、血液病・免疫不全の病態解明、がんのゲノム医療、臨床試験、疾患登録における研究支援を3本柱としていますが、さらなる充実を図っているところです。

今後の展望としては、日本や世界の医療をリードできる人材を育てていきたい。そのために、まず併設の看護学校を大学にします。大学院もできますので、教育拠点になっていくでしょう。臨床研究センターとあわせて、研究の拠点としても大きな存在にしたいと考えています。

大学とは違った意味で、診療、教育、研究という、3つの柱を立て、それらが一体化した、魅力ある拠点にしたいというのが、将来的なビジョンです。

研修制度についてですが、当院には卒後研修の長い歴史があります。卒業後は市中病院に出ることが多いのですが、そこでは2年目の臨床研修医が1年目を教え、3年目が2年目を教えるという、いわゆる屋根瓦方式が根付いており、卒後教育の体制が充実していると思います。

最後に若手の先生に向けてのアピールですが、当院はフレッシュな症例も非常に多く、各診療科の指導医もそろっています。卒後教育研修センターでの研修実績もあり、非常に良いムードで研修が行われているのではないかと自負しています。それは、自主的な勉強会やカンファレンスの多さに加え、敷地内にある寮でみなさんが共に過ごしなが、密度の濃い2年間を送っているということも一因でしょう。

それから、初期研修が終わったあとについても、専門研修の中で、たとえば、臨床研究やその後のキャリアに関しての支援も用意され、引き続き学び続けられる病院ということも1つの魅力だと思います。学びやすく、働きやすい病院だと思えますので、ぜひ研修にいらしてください。

## 名古屋医療センター DATA

## ■所在地

愛知県名古屋市中区三の丸四丁目1番1号  
<https://www.nnh.go.jp>

## ■病床数

740床

## ■診療科目

内科/心療内科/精神科/神経内科/呼吸器内科/消化器内科/循環器内科/アレルギー科/リウマチ科/小児科/外科/整形外科/形成外科/脳神経外科/呼吸器外科/心臓血管外科/小児外科/皮膚科/泌尿器科/産科/婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/気管食道科/リハビリテーション科/放射線科/歯科/小児歯科/歯科口腔外科/麻酔科/病理診断科/救急科

## ■研修の特色

第3次救急指定病院で、精神科棟を併設した基幹型研修病院です。経験できる症例の種類や数がいへん豊富で、幅広い臨床研修が可能です。カンファレンスが非常に多く、他の病院からも勉強に来ています。ほとんどが敷地内の研修医宿舎に住み、密度の濃い2年間を過ごします。当院の文化として、勉強会をやったり、教科書の読み合わせをやったりと、とても研究熱心です。



病棟10階 特別病室



患者様のリラクゼーションルーム



多目的利用の特別会議室



名古屋城

## 名古屋医療センターのある街

## 日本のものづくりの中心地から工業都市へと発展

愛知県の南西部、濃尾平野に広がる名古屋市の、横浜市、大阪市に次ぐ全国第3位の人口を有する。名古屋駅と栄駅には広大な地下街があり、そのため地下鉄網も充実している。

東京と大阪の間に位置し、古くから交通の要衝でもあった。城下町を中心にさまざまな職人が集まり、切磋琢磨した。こうして受け継がれてきたものづくりの技術と精神は、この名古屋の地で日本の将来を導く産業として発展を続けている。

2017年4月にはレゴランド・ジャパンがオープンした。子供の知育玩具、レゴブロックで遊べるのはもちろん、体験型アトラクションもある。今後、公式

ホテル「レゴランド・ホテル・ジャパン」が開業予定だ。

名古屋の名物と言えばなんといっても「名古屋めし」だろう。特徴は言わずと知れた味噌や濁り醤油が使われた、濃厚な味だ。代表的なものに味噌をベースとした味噌煮込みうどんや味噌おでん、鶏肉をベースにした手羽先唐揚げなどがある。意外なところで、マヨネーズ入り冷やし中華は、実は名古屋が最初なのだとか。地元のラーメン店「スガキヤ」がラーメンスープにマヨネーズを溶かして冷やしラーメンとして売り出したのが始まりだそうだ。

